

鹿児島県医師連盟 FAX ニュース

※会員の皆様へ 鹿児島県医師連盟編集・発行のFAXニュースです。医師連盟関係の情報を随時お送り致します。

編集・発行 鹿児島県医師連盟 TEL : 099 - 213 - 1011 FAX : 099 - 213 - 1012

県医師連盟が総決起大会開く 参議院完選で、自民公認の羽生田氏、尾辻氏を激励

鹿児島県医師連盟主催の「羽生田たかし、おつじ秀久総決起大会」が6月15日午後5時から鹿児島県医師会館4階大ホールであり、郡市医師連盟をはじめ、医療関連団体、医療関係企業から600人が参加、会場を埋めた。7月4日公示、21日投票が有力な参院選挙を前に、自民党の公認候補を激励するのが目的で、全国比例区の羽生田たかし候補（71）、鹿児島選挙区の尾辻秀久候補（78）が駆けつけ、決意表明した。

決起大会ではまず、鹿児島県医師連盟の池田琢哉委員長が挨拶。「お二人は、我々の医療政策を実現するためにも、なくてはならぬ存在だ。両候補の圧倒的勝利を目指して、共に戦おう」と檄を飛ばした。このあと、自民党国対委員長で、鹿児島県連会長の森山裕衆院議員が「日本の皆保険は何としても守らねばならない。お二人は社会保障を支えるための大事な政治家だ」と述べ、候補者を激励した。

決起大会に出席した地元選出国會議員や、ふるさと創生支部長の紹介、日本医師連盟参与の自見はなこ参院議員のビデオメッセージのあと、羽生田候補と尾辻候補が決意表明した。

2期目を目指す羽生田候補は「成育基本法の制定をはじめ、この6年間一生懸命仕事をしてきた。やり残したこともある。日本の医療のため、これからも仕事をさせていただきたい」と述べ、6期目に挑戦する尾辻候補は「医療関係の皆さんには、過労死に近い状況のなかで、仕事をしてもらっている。感謝しかない。皆さんに犠牲を強いることはしない。なんとしても頑張っていく」と決意表明した。

このあと、鹿児島県医師連盟から両候補に花束が贈呈され、決起大会の最後は、日本医師連盟の平川俊夫参与が「勝利をめざし一致団結して戦い抜こう」と檄を飛ばし、全員で「がんばろう」を三唱した。

今回の選挙で、日本医師連盟の組織内候補でもある羽生田候補は、医療関係団体候補のなかでのトップを狙い、尾辻候補は前回と同様、圧勝を目指しているが、選挙区選挙には保守系無所属の前霧島市長、野党統一による女性候補が無所属で立候補を表明しており、予断を許さぬ激しい戦いが予想される。

郡市医師連盟は、それぞれの地域で尾辻秀久候補の決起集会を開催して、関係者への支持拡大と浸透を図っている。

（文責事務局）